

日本薬科大学教職課程 履修カルテ① <教職関連科目の履修状況>

医療ビジネス薬科学科	学籍番号：	氏名：
------------	-------	-----

(1) 教職関連科目の履修状況

授業科目名	単位	履修年次、 前後期	必選 ※	授業担当教員名	修得年度	成績評価	学んだこと	指導教員からの評 価・コメント
生活の化学	2	1年 前期	選					
生物の基礎	2	1年 前期	選					
人体の構造と働き I	2	1年 前期	選					
球技系種目 I	2	1年 前期	選					
夏季集中体育実技	2	1年 前期	選					
入門英会話	1	1年 前期	必					
化学講義	2	1年 後期	必					
生物学講義	2	1年 後期	必					
生物学基礎実験	1	1年 後期	必					
日本国憲法	2	1年 後期	必					
情報リテラシー	2	1年 後期	必					

教育基礎論（原理・教育史）	2	1年 後期	必					
教職概論	1	1年 後期	必					
教育の心理学	2	1年 後期	必					
生命をミクロに理解する	2	1年 後期	選					
生薬学	2	1年 後期	選					
地球環境と社会	1	1年 後期	選					
球技系種目Ⅱ	2	1年 後期	選					
冬期集中体育実技	1	1年 後期	選					
実践英会話	1	1年 後期	必					
物理学講義	2	2年 前期	必					
地学講義	2	2年 前期	必					
化学基礎実験	1	2年 前期	必					
理科教育法Ⅰ	2	2年 前期	必					
教育制度（法規・制度・行政）	2	2年 前期	必					
生徒指導・進路指導論	2	2年 前期	必					
薬理学Ⅰ	2	2年 前期	選					

栄養学概論	2	2年 前期	選					
物理学・地学基礎実験	1	2年 後期	必					
理科教育法Ⅱ	2	2年 後期	必					
教職課程論	2	2年 後期	必					
教育相談	2	2年 後期	必					
薬学物理	1	2年 後期	選					
栄養生理学	2	2年 後期	選					
公衆衛生学	2	3年 前期	必					
理科教育法Ⅲ	2	3年 前期	必					
道德教育	2	3年 前期	中必 高選					
ICTを活用した教育方法・技術論	2	3年 前期	必					
医薬品の化学	2	3年 後期	必					
理科教育法Ⅳ	2	3年 後期	必					
特別支援教育概論	1	3年 後期	必					
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	3年 後期	必					
疾病と治療薬	2	3年 後期	選					

教育実習研究（事前事後指導を含む）	1	4年 前期	必					
教育実習 I	2	4年 前期	必					
教育実習 II	2	4年 前期	中必 高選					
教職実践演習（中・高）	2	4年 後期	必					

※卒業単位としての必修・選択ではなく、教員免許状取得における必修・選択

（2）教職に関する学外学習・ボランティア経験等の状況

日本薬科大学教職課程 履修カルテ② <自己評価シート>

(1) 必要な資質能力についての自己評価

(5:良くできる 4:ある程度できる 3:どちらともいえない 2:あまりできない 1:できない 0:未学習)

必要な資質能力の指標			自己評価				
大項目	小項目	指標	1年次 終了時	2年次 終了時	3年次 終了時	4年次	どのような経験をしたか、その経験等から獲得したことは何かなどを記載する。
学校教育についての理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解している。					
	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得している。					
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得している。					
子どもについての理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論の基礎知識を習得している。					
	学習集団の形成	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得している。					
	子どもの状況に応じた対応	いじめ、不登校、特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解している。					
他者との協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができる。					
	保護者・地域との連携協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解している。					
	共同授業実施	他者と共同して授業を企画・運営・展開することができる。					
	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができる。					
	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんとこなすことができる。					
コミュニケーション	発達段階に対応したコミュニケーション	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができる。					
	子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができる。					
	公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができる。					
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についている。					
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	理科	これまで履修した理科教育分野の科目の内容について理解している。					
	教科書・学習指導要領	教科書や学習指導要領の内容を理解している。					

必要な資質能力の指標			自己評価				
大項目	小項目	指標	1年次 終了時	2年次 終了時	3年次 終了時	4年次	どのような経験をしたか、その経験等から獲得したことは何かなどを記載する。
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得している。					
	道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得している。					
	総合的な学習の時間	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得している。					
	情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得している。					
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得している。					
教育実践	教材分析能力	教材を分析することができる。					
	授業構想力	教材研究を生かした社会科の授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができる。					
	教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができる。					
	授業展開力	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができる。					
	表現技術	板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けている。					
	学級経営力	学級経営案を作成することができる。					
課題探求	課題認識と探求心	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っている。					
	教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができている。					

(2) 教職を目指す上で課題と考えている事項

--